

岸本中学校・溝口中学校 職場体験

将来に向かっての第一歩



仕事の体験を通して、中学生が働くことの意義を理解し、仕事への考えを深める機会とすることを目的に行われている職場体験。7月4日(火)から7月7日(金)まで、伯耆町内や近隣町の事務所の協力のもと、岸本中学校・溝口中学校2年生が職場体験に取り組みました。

5日(水)には、伯耆町役場企画課に入澤さんと萬井さんがやってきました。2人は広報担当として取材に挑戦！みんながどのような仕事を体験しているのか、少しのぞいてみました。

そしてその取材をもとに、2人がこのページの一部を作成しています。

- ①溝口保育所での外遊び
- ②スーパーでの惣菜作り
- ③フィットネス&スタジオ パルでの器具の操作説明
- ④有限会社メディア・テックでの映像制作
- ⑤町役場広報担当として取材

仕事を体験した
感想を聞きました!

スーパーの野菜部門を体験しました。トマトやナス、モモなど形や性質が異なるいろいろな野菜の袋詰めや梱包作業をして、面白い仕事だなと思いました。



動画撮影や編集に興味があり、テレビ局で職場体験をしました。意見を出し合いながら工夫して制作した映像がテレビで流れると思うとワクワクします。



ぽっぽみらいで体験をしました。飲食店での仕事は思ったよりも大変。特にお客さんと話すのは難しいなと思いましたが、お客さんの笑顔を見ると嬉しい気持ちになりました。



インタビュー

店主の足立さんに聞きました!



Q.仕事で大変だったことは?

一級畳製作技能士という国家試験に挑戦したことです。

Q.これからがんばりたいことは?

畳を使う家が少なくなっている中で、畳の新たな在り方を考えながらも、伝統ある畳の良さを多くの人に伝えていきたいです。

足立畳店

足立畳店では、中島さん、妹尾さんの2人が体験を行っていました。2人はわらを並べて畳の一部を作る作業や、古くなって使えない畳を廃棄できるよう廃棄可能な大きさに切断する作業をしていました。

中島さんは慣れた手つきでわらを並べ、何十年も畳作りをしている職人のよう。妹尾さんは約30キログラムある畳を6等分していて、「畳の仕事は想像以上に体力を使う」と話してくれました。



丁寧に切断します



一生懸命取り組んでいる二人

インタビュー

職員の渡邊さん、長尾さんに聞きました!



Q.本の管理は難しい?

町立図書館には約5万冊あるので、図書館の中で本が違う場所にある・なくなっていることがあり、適切な管理は難しいです。

Q.仕事のやりがいは?

本が重く大変なこともありますが、本を読むみなさんの笑顔を見るとうれしくなります。

岸本図書館

岸本図書館では、石川さん、川部さんが体験をしていました。図書館といえば「本を貸し出す仕事」のイメージが強いですが、この日2人は、夏におすすめしたい本として選んだおぼけ特集のポップを作っていました。(こんな仕事もあるのかと筆者は驚きました!)

「漫画や本が好き」「図書委員で、図書館の仕事に興味があった」という2人の、真面目にポップ作りに励む姿はまるで本物の図書館職員のように輝いていました。

2人の力作は
図書館に掲示中!
ぜひ図書館へ!



石川さんの真剣な眼差し



川部さんは折り紙で飾りづくり

広報担当として働いてみて...

入澤さん

役場職員ってどんな仕事をしているのだろうと思い、役場で職場体験をしました。広報の仕事は「取材をする」くらいのイメージしかなかったけれど、記事作りが思ったよりも難しく、これを毎月続けるのは大変だなと思いました。写真撮影が楽しかったです!



萬井さん

今回広報の仕事を経験して、それぞれの職場でがんばる同級生や地域の方を知ることができました。まだ2日目だけれど、同級生にはすでに職人感があって驚き! 足立畳店ではインタビューを通して、洋室に合う色付きの畳があることがわかり、取材先での学びもありました。